

【別紙】中川児童館指定管理者応募事業者概要

法人名	社会福祉法人 厚生館	B
1. 利用者 サービスの向上	【開館時間】 月～土 9:00～20:00 日・祝 9:00～19:00	
	■乳幼児事業 キッズタイム(月齢別ひろば事業、合同ひろば事業) 幼児室(幼児室開放) 乳幼児サロン(体育室開放) 乳幼児のつどい(子育て講座) 子育て相談 プレキッズ(妊娠中及び新生児親子の交流) 子育てサークル支援事業 乳幼児水遊び(プールでの異年齢交流) 館内外イベント(例: あおぞら児童館、乳幼児リサイクルなど) ■中高生事業 中高生タイム寺子屋 ア)学習活動 イ)調理活動 ウ)スポーツ活動 エ)視聴覚活動 オ)制作活動 中高生会議しゃべルーム スポーツ大会 中高生ボランティア グループ室開放 館内外イベント(例)高尾山ハイキング、館内宿泊&課外活動等	■乳幼児事業 おやこのひろば(月齢別ひろば事業) 幼児室開放 乳幼児サロン(体育室開放) 子育て講座 子育て相談 絵本を利用したプログラム ■中高生事業 補習タイム(自分で授業の予習・復習・宿題を行う。週2回、18:00 - 20:00) 食育リトルシェフ 中高生スポーツタイム フレンドサークル(内容を中高生が決める) スポーツ大会 中高生ボランティアリーダーズクラブ
	【自主事業の提案】 学童クラブ児童の年末育成(12月29日・30日:日曜日を除く、8:30 - 18:00、2,000円/1人) 学童クラブ待機児童対策「ランドセル預かり」 ランドセル預かり児童年末育成 厚生館については、児童等の学習支援について、指定管理費内で「中高生タイム『寺子屋』」(毎週火・金曜日 18:00 - 20:00、定員15名程度、無料)を実施。	【自主事業の提案】 児童館特例利用(ランドセル預かり) 学童クラブ遠足/児童館遠足(利用者負担あり) 同社独自の教材・カリキュラムによる国語・算数の教室(小・中学生対象:週1回60分、有料〔2,000円前後〕)
2. 効率的・効果的な施設の運営	【指定管理委託料】 73,423,000円	【指定管理委託料】 67,978,000円
	【コストの低減】 法人による貴重な経験者の再雇用と人件費の削減 光熱費の無駄のない使用 用紙の裏面使用、紙ごみのリサイクル回収等 施設の修理等、なるべく職員の創意工夫による補修	【コストの低減】 省エネルギーの推進 日常点検、定期点検による不具合の早期発見・修繕と修繕経費の削減 使用量の明確化による必要な在庫のみの確保、他運営施設との共同購入等による経費削減 電子データの有効的な活用
	【公の施設の管理運営実績】 認可保育園 3か所 児童館 1か所 学童クラブ 1か所 母子寮 1か所	【公の施設の管理運営実績】 児童館 3か所 放課後児童クラブ 10か所 学童クラブ 4か所 認可保育園〔区立〕 1か所 認証保育園 17か所
	【地域との連携】 ■保護者や地域団体との連携 「えんにちひろば」(たちばな仲よし公園)の実施 中川つくし会、周辺4町会・子ども会との連携により開催 「あおぞら児童館」(たちばな仲よし公園)の実施 伝承遊び、工作遊び等により地域と児童館との繋がりを深化 その他の交流 ア)学童クラブ保護者会主催行事への参加(運動会、ゲーム大会等) イ)中川小学校の運営協議会への参加(年3回) ウ)地域防災活動拠点会議への参加(年3回)	【地域との連携】 ■保護者や地域団体との連携 学童クラブ保護者との連携 ア)学校・町会主催の行事、児童館主催の親子教室・行事への呼びかけ イ)町会、民生委員、児童委員、地区青少年育成委員会等との連携 小学校との連携 ア)地域、対象児童等に関する情報収集 イ)定期的な学校との打合せ等 地域イベント等への協力 その他関係機関との連携 ア)安全教室、防災体験等(警察・消防) イ)事業協力・共催・事業PR等(区内保育園、小・中・高等学校)
	■区民参加やボランティアの育成・活用 児童館行事への地域住民の指導参加を依頼する。 学童クラブの行事(お楽しみ会、ランチ作り等)について、学童クラブ保護者の協力を呼びかける。 中高生や児童館OB・OGの子どもたちをボランティアとして児童館運営に参加を呼びかける。	■区民参加やボランティアの育成・活用 区民、NPO法人、企業、行政との連携により、区民活動の場を提供していき、教育、レクリエーション、環境学習、食育、生涯学習に関する地域のリーダーを育成する。 児童館運営に、中高生職業体験、大学生ボランティアの積極的な受け入れを行う。

法人名	社会福祉法人 厚生館	B
3. 事業計画の 遂行能力	【職員体制】 ●常勤 9名:館長1名、児童館事業4名、学童クラブ事業4名 ●非常勤1名:学童クラブ事業1名 ●臨時職員6名:児童館事業5名、学童クラブ事業1名	【職員体制】 ●常勤 9名:館長1名、児童館事業4名、学童クラブ事業4名 ●非常勤7名(児童館4、学童クラブ3) ●臨時職員4名(夏季・冬季休業等、長期休業期間のみ:4名)
	【利用者の危機管理体制】 1 安全について ヒヤリハット事例の検討と保護者、子どもたちへの周知徹底 不審者・事件の発生時 ア)区、警察署への事実確認 イ)必要時にお迎えを依頼 ウ)職員が引率し集団帰宅 避難訓練の実施(月1回) 2 食物アレルギー・衛生管理について 対象児童の情報把握 食を扱う際の衛生管理の徹底 感染拡大の防止 ア)区、近隣小学校との連携 イ)消毒等の徹底 ウ)事業・行事の中止等の対策(区等と協議)	【利用者の危機管理体制】 1 利用者の安全対策 日常の安全点検 緊急時対応の明確化、関係機関との支援協力体制 避難訓練の実施 2 事故・災害発生時の対応 「緊急時対応マニュアル」「緊急連絡体制表」「危機管理体制」の整備 3 不審者対応 館外活動時のマニュアル遵守 不審者情報の告知・連絡(一斉メール配信等) 不審者対応の安全教室等の実施 4 衛生管理 日常の清掃、整理整頓 手洗いうがい等健康指導の徹底 近隣小学校・医療機関等からの情報収集 5 感染症・食中毒発生時の対応 自社「感染症対応マニュアル」による対応 関係機関に対する速やかな報告、対策の検討 感染経路の確認と保護者の対応 PTSDの児童に対するカウンセリング等 発生原因の究明、除去、及び再発防止
	【経営状況(財政基盤)】 保育園等の改築に伴う借入については、すでに完済している。 本部及び5施設(厚生館立花、厚生館保育園、ひらお保育園、あおやぎ保育園、中川児童館)の合算で積立金及び当期末支払資金残高は、施設運営に必要・充分な額を準備し、安定した財政基盤のもとに運営している。	【経営状況(財政基盤)】 20年以上、借入金なしで法人経営を行っていることや、保育所運営など開設準備にかかる費用も100%自己資金でまかなっている等、安定した運営を実現している。